

平成29年度アドバイザー派遣事業実施レポート

鳥取市立桜ヶ丘中学校区小中学校・八頭郡智頭町立智頭中学校合同研修部会

1 研究テーマ

主体的・協働的に物事を考え、判断し、実践する生徒の育成
～アクティブ・ラーニングの手法を学ぶ～

2 アドバイザー 産業能率大学 経営学部教授 小林昭文氏

3 会 場 鳥取市立桜ヶ丘中学校

4 実施期日 第1回合同研修会 平成29年 7月 7日(金)
第2回合同研修会 平成29年 8月18日(金)
第3回合同研修会 平成29年12月 8日(金)

5 実施内容とまとめ

(1) 第1回 合同研修会 平成29年7月7日(金)

- ①本校の課題について
- ②授業参観
- ③師範授業 3年6組 理科「熱と温度」
- ④講義「主体的・対話的で深い学びをどう実現するか」

本研修部会では「アクティブ・ラーニングの手法をどう学ぶか」を副題とし、大胆な授業改革と授業実践をめざしている。3年6組で理科「熱と温度」の師範授業を参観したことで、アクティブ・ラーニングの授業がどのような授業なのかという具体的なイメージを持つことができた。また、それぞれの教科でその特性を生かしながら、どのようにこの手法を取り入れていくのかという視点で授業を参観し、今後追試をしていきたいと考える。なぜ「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の授業が求められているのか。講義の中ではその理論と共に背景となる社会経済情勢をふまえ、次代を生き抜く子どもたちに、学校教育ではどんな力を育成しなければならないのかを、歴史的変遷を紹介しながら不易の部分とこれからの教育に求められている部分とを端的にわかりやすく説明していただいた。

(2) 第2回 合同研修会

平成29年8月18日(金)

- ①研究の進捗状況について
- ②講義「授業づくりのポイントと振り返り会」
- ③研究授業について(授業者)
- ④授業づくりについて(研究主任)

前回の師範授業をもとに今回は職員が生徒役となり、生徒同士の関わり方について自ら体験する機会を得ることができた。生徒役の職員とその様子を周囲で参観する職員に分かれ、指導者の声かけで生徒(職員)がどのように変容するかを観察し、「授業を見る視点」と合わせ、指導者の関わり方について学ぶことができた。また「振り返り会(事後研究会)」の持ち方の指導では、グループ討議の内容や会の進行の仕方など具体的に指導を受けながら「振り返り会」の意義や運営方法について学ぶことができる貴重な機会となった。

(3) 第3回 合同研修会

平成29年12月8日(金)

- ①研究の進捗状況について
- ②授業参観
- ③本校の課題と取組について
- ④研究授業
- ⑤研究協議「振り返り会」・質疑応答

これまでの2回の研修会で学んだ「アクティブ・ラーニング」の授業づくりや理論を元に授業研究に臨んだ。9月以降、小林昭文先生の師範授業をイメージしながら教科の特性を生かし、全職員が研究授業を実施している。今回は研究授業を見る視点を示した「授業見学用ワークシート」を活用しながら参観し、このワークシートをもとに事後研修会にあたる「振り返り会」を行った。小林昭文先生には事前にワークシートの活用法や「振り返り会」の進行の仕方について指導助言をいただいた。ポイントをしぼり、授業内容についてグループ毎に感想を述べ、質問を行う。授業者が感想を聞き質問に答える中で、自身の授業の振り返りをすることができ、次への授業づくりに前向きに取り組める研修となった。